

1 単元名 はたらく犬をしょうかいしよう 「もうどう犬の訓練」

2 目標

- 働く犬に関心をもち、いろいろな本や資料を進んで読んだり、調べたりしようとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 目的に応じて、中心となる語や文を捉え、内容を整理したり構成を把握したりしながら読むことができる。  
(読むこと)
- 指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手掛かりになることを理解し、文章を読むことに役立てることができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導に当たって

(1) 児童観

本学級の児童に対して、「ありの行列」(光村図書3年上)を読んで、「ありの行列ができるわけを、どのような実験で調べたか説明しなさい。」という実態調査(平成24年9月12日実施、第3学年1組17人)を行った。その結果、「行列を石で遮る実験をして調べた」と正しく説明できた児童は5人であった。しかし、実験にふれずありは液を付けて歩いていると分かったことを答えた児童が9人、ウイルソンが実験したと研究者名を答えた児童が3人いた。このことから、本学級の児童には、設問の意図に対して、内容の中心を捉えて答えることに課題があることが分かった。これは、目的に応じ、中心となる語や文を捉え、内容を読み取らせる指導が不足していたためと考える。

(2) 教材観

本教材は、犬が一人前の盲導犬になるまでの訓練の過程について、説明の順序を表す言葉や犬の成長を表す言葉を使って、順序よく説明している。文章構成も明確で、話題提示の後、訓練の過程を時間経過や訓練の進度から五つの意味段落を作り、具体例を挙げながら説明している。そのため、内容を読み取りやすく、文章の要点もつかみやすい。要点のまとめ方について本格的に学ぶこの時期に適した教材であると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、単元を貫く言語活動として「はたらく犬を紹介しよう」を設定し、紹介のために必要な文章や資料を取り上げてプレゼンテーションのスライドを作る活動を展開する。そのために、まず、働く犬に関するクイズを出題し、疑問や興味をもたせながら調べたい犬を選べるようにする。このとき、働く犬を単元の最後に紹介し合うことを伝え、教師が実際にモデルを示す。さらに、並行読書の時間を設定し、情報を集められるようにする。次に、学級全体で要点のまとめ方を手引きにしたり、意味のまとまりを作り事実に着目したりする。そして、情報を整理し、必要な箇所を選べるようにする。最後に、盲導犬の訓練の過程について、文章と整合する写真を結び付けてプレゼンテーションのスライドを作り、発表のために活用できるようにする。さらに、選んだ働く犬についてもプレゼンテーションをし、紹介し合えるようにする。このような活動を通して、目的に応じ、内容の中心を捉える能力を育てたいと考え、本主題を設定した。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
・働く犬に関心をもち、いろいろな本や資料を進んで読んだり調べたりしようとしている。	・目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読んでいる。	・指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手掛かりになることを理解し、文章を読んでいる。

6 本時の指導

(1) 目標

- 文章と資料を結び付ける活動を通して、文章の内容を整理し、プレゼンテーション資料を作ることができる。

(2) 準備・資料

教材提示装置, デジタルボード, デジタル教科書, コンピュータ, ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点					
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もうどう犬の訓練の様子を分かりやすく説明するプレゼンテーションのスライドを作ろう。</p> </div> <p>&lt;活動の手順&gt;</p> <p>①原稿を考え、整合する写真を選ぶ。 【個人】</p> <p>②原稿と写真が整合するか検討する。 【グループ】</p> <p>2 教科書P33L5～P37L12（形式段落4～16）を読み、プレゼンテーションのスライドを作る。</p> <p>(1) 前時までにまとめた要点文や意味のまとまりを基に、原稿を書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>一才になると、訓練が始まります。 最初は、人間の言うことに従う訓練です。「カム」「ダウン」「シット」を覚え、一番難しい「ウエイト」もできるようになります。</p> </div> <p>(2) 写真にタイトルを付け、原稿に整合する写真を一枚選ぶ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○人間の言うことに従う訓練の段落</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> <p>ダウンの命令に従う盲導犬の写真</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> <p>シットの命令に従う盲導犬の写真</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> <p>ウエイトの命令に従う盲導犬の写真</p> </td> </tr> </table> <p>・一番難しい命令ができたから。 ・人の言うことに従う訓練の最後だから。</p> </div> <p>3 グループになり、プレゼンテーションのスライドを比べ合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○人間の言うことに従う訓練の段落</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> <p>ウエイトの命令に従う盲導犬の写真</p> </td> <td style="padding: 5px; width: 66%;"> <p>「最初は人間の言うことに従う訓練です。これは一番難しい『ウエイト』ができたところですよ。」</p> </td> </tr> </table> </div> <p>4 盲導犬の訓練の過程について、プレゼンテーションをし、内容を確認する。</p> <p>5 並行読書をする。</p>	<p>ダウンの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>シットの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>ウエイトの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>ウエイトの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>「最初は人間の言うことに従う訓練です。これは一番難しい『ウエイト』ができたところですよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察犬の仕事について、文章と写真が結び付かないスライドを含んだプレゼンテーションを見せ、違和感を話し合うことで、文章と写真の関係の大切さを確認できるようにする。</li> <li>訓練の様子でなく、盲導犬について説明している最初の意味段落をプレゼンテーションのスライドに含めるか問うことで、目的に応じて、必要な情報を選ぶことを意識できるようにする。</li> <li>最初の原稿は全体で作る。「人間の言うこと」とはどんなことかを問うことで、形式段落6～8の要点から必要な事柄を取り上げ、原稿を書くことができるようにする。</li> <li>原稿を書くことに戸惑っている児童には、書き出しの言葉を示したり、意味のまとまりに合わせて要点文をつないで文を作るように指示したりする。</li> <li>考えた原稿を基に写真を選ぶように助言することで、伝えたいことを具体化した写真を選ぶことができるようにする。</li> <li>原稿の中のどの言葉と写真が対応しているのかを問うことで、写真を選んだ根拠を明確にもち、話し合いに参加できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>文章と写真を結び付ける活動を通して、文章の内容を整理し、プレゼンテーションのスライドを作っている。(読 ワークシート・活動の様子)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真を選べない児童には写真を意味のまとまりごとに見せ、そこから選ぶように指示する。</li> <li>なぜその写真を選んだのか、理由を述べながら検討し合うことで、内容を整理するとともに、写真の役割を知ることができるようにする。</li> <li>写真と原稿の内容が合っているかを確認することで、整合性を意識し、正しくプレゼンテーションができるようにする。</li> <li>完成したワークシートを読み返すことで、全体の内容や構成を再確認することができるようにする。</li> <li>教材提示装置やデジタルボードを用いて拡大してプレゼンテーションをすることで、映像情報を学級全体で共有できるようにする。</li> <li>次時から働く犬を紹介する準備を行うことを伝え、読書によってスライドを作るために必要な情報を集めることができるようにする。</li> </ul>
<p>ダウンの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>シットの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>ウエイトの命令に従う盲導犬の写真</p>				
<p>ウエイトの命令に従う盲導犬の写真</p>	<p>「最初は人間の言うことに従う訓練です。これは一番難しい『ウエイト』ができたところですよ。」</p>					